

ニーズにあったボランティアの発掘を グループわを活性化するための検討委員会を開催

理事 - 郷 肥三

運営委員会の中から9名(垣尾、松本、杉野、北田、三島、中沢、高橋、東本、郷)を理事長が推薦し、活性化検討委員会を立上げ、2月1回、3月2回、4月2回の計5回委員会を開催しました。グループわを活性化するためには、何をどのようにすればよいかについて忌憚のない意見を出しあって討論しました。

結論から述べますと本部に対する意見が多く出され、NPO法人になっても、なる前の任意団体の意識が抜けず、企画・運営がそのまま踏襲されて

いる。もう少し本部が主体性を持って各地区、部会をリードすることが必要である。

そのためには収益事業を増やして業務の安定を計りながら、会員のニーズにあったボランティア内容、魅力のある仕事を探してくる。地区会、部会の各リーダーは指導力を発揮して会を運営するとともに、スタッフを決めて運営を補佐し協力して会を盛り上げてもらう。

各地区は例会を必ず開催し、イベントや食事会など出席率を高める工夫

を検討していただき、当面目標は出席率50%とする等、一例を挙げておきます。

検討委員会のまとめは、運営委員会に提出し、総会后、出来る項目から順次実施して、グループわが少しでも活力のある組織になるように努力していきますので、会員の皆様におかれましても忌憚のないご意見とご協力をお願いします。



ご覧になってますか

グループわのホームページを

理事 - 小林 将悟

グループわのホームページ(H P)は、神戸市しあわせの村のHPに間借りしていましたが、近く独立して逐次、画面を改善してまいります。インターネットによりグループわの活動を広報する大事な役割を担っています。HPの担当業務にはわの会員有志6名にお願いしています。

新しい情報や会員の活動状況を迅速に情報伝達します。例えば会員の皆さん側からボランティアの中身とスケジュールを知ると同時に「関心あり参加するよ」のリアクションが出来る、即ち情報の流れが一方方向だけでなく機能させ活用する事も可能です。HPを有効に機能させ活用していく為には、それなりの知恵と労力が必要です。閲覧側の関心、ニーズは？的確にとらえておく必要がありますし、コンテンツ提供側として何を訴求したいのかを明確にして置かなければなりません。

インターネットを良くご存知の皆さんは沢山いらっしゃると思います。又逆にそのような環境をお持ちでない方もいらっしゃいますが、先ず皆さんが関心を持ってHPを訪問してくださるようお願いします。

現状不備な点は沢山有ると思いますが、順次改良して参りますので宜しくお願い致します。

シルバーカレッジからのお知らせ

在校生も地域交流活動はじめる

シルバーカレッジ事務局

「地域人として、社会参加・地域貢献できるきっかけづくりの授業が欲しい」との学生の要望に応え、平成16年度から地域交流授業を組み、地域交流活動が始まっています。平成16年度は、2年生・3年生の学生が学年ごとに地域グループを結成し、地域交流活動を展開しました。

平成17年度には、前年度の活動をふり返った際の感想や提言を基に、学年の枠をはずして、全学生により、64の地域交流グループが結成されました。現在、この地域交流グループは、互いの親睦をはかると共に、クリーン作戦や子どもたちの見守り活動・イベントボランティア等々、地域への貢献活動を活発に展開し、継続活動に発展させたグループもあります。

これから地域デビューをしたいと考えておられる方、現在、すでに地域参加・参画しておられる方等、学生の皆さんの地域経験はさまざまです。すでにグループわに入会して、ボランティア活動に多忙な方もおられます。

この地域交流授業のねらいは、地域ごとにカレッジの学生相互の交流を図っていただくことだと考えています。地域の学生同士のつながりが出来ていく中で、経験者から地域人となるきっかけや、良きアドバイスが得られるだろうと思います。また、地域交流



神鉄西鈴蘭台駅の清掃をする北区の在校生

活動が、年を重ねるごとに、学生が次々と入学してこられる上に、卒業後も活動を継続され、しだいに地域に根を張り、広がっていくのではない

かと期待しています。

昨年6月の交流授業の全体会では、グループわの活動と連携をとっていただくために、グループわの地区会の説明をしていただきました。様々な形で地域とのつながりが密になり、皆さんが活気のある日々を送られ、地域社会の活性化を促進する手助けになればと願っています。